

東京都医療的ケア児支援者育成研修 受講状況

(第2回終了時点)

	申込数	1日目	2日目	受講者実数	修了証書発行数
第1回	133	111	109	112	108
第2回	159	130	130	132	122
第3回	2/14、2/19 実施予定				
合計	292	241	239	244	230

※ 修了証書は2日間すべての講義を受講した者に発行。

受講者の声（抜粋）

【訪問看護】

- まだまだ整備が整っていない中で、自分達がどのように道を開いていけば良いのか勉強になりました。
- 訪問看護がまだ医ケア児に関わるということが少ないという現状もわかり、自分自身も学びながら訪問するという事で良いのだと思え少し安心できた。

【居宅介護】

- 各分野の役割、連携、児に対する関わり方がわかり参考になりました。
- 児が健やかに成長するためには家族のサポートもとても必要。

【児童発達支援】

- 動ける医ケア児の支援は早期に必要だと思いました（制度の狭間にいる）。
- 法律や事業の内容をもっと勉強して、それらを利用できる力をつけたいと思いました。

【放課後等デイサービス】

- 病院や医師や看護師はもちろん、周りの地域の保健師や役所など関係機関で連携を取り支援を行っていることがわかりました。
- 各職種の人たちがどのような気持ちで医ケア児重心児たちの支援に携わっているのが分かったことが一番良かった。今後どうすべきか考える良いきっかけをもらえました。

【相談支援】

- どの講演の中でも相談支援専門員の役割が位置づけられていることで自分達もきちんとした知識を得ていき、医療との関わりもより努めていくべきであると痛感しました。
- 制度面から現場の対応まで全般に渡る知識が得られてよかったです。

【保育園】

- 病院から在宅となり子供の様子に変化が表れる。その言葉にこれから受け入れる側の役割の大きさを実感した。

【小児二次救急病院】

- 退院後、もっと保健師さんに関わりをお願いして良いことがわかった。
- 調整役として日々活動している保健師の役割、業務内容のお話がとても参考になりました。

【行政障害福祉所管】

- 医療の分野は福祉職ではなかなか聞くことができない話があったのでとても役に立ちました。
- 障害分野の立場としてサービス等の相談があってから対応するのではなく、退院前からネットワークの一員で関わっていくことの大切さを感じました。
- 関係機関との連携や他職種がどのように動いているのかイメージが付ききました。

【行政保健衛生所管】

- 難しい専門用語もわかりやすく説明してくださり、とても勉強になりました。行政としてできることは精一杯して、できないやりにきれないところは他と連携していきたいと感じました。

